

香港株式市場フラッシュ

全人代「政治活動報告」から探る有望銘柄

リサーチ部 笹木和弘

Tel: 03-3666-6980

E-mail: kazuhiro.sasaki@phillip.co.jp

フィリップ証券株式会社

2025年3月12日号(3月12日作成)

“全人代の冒頭、李強首相による政治活動報告”

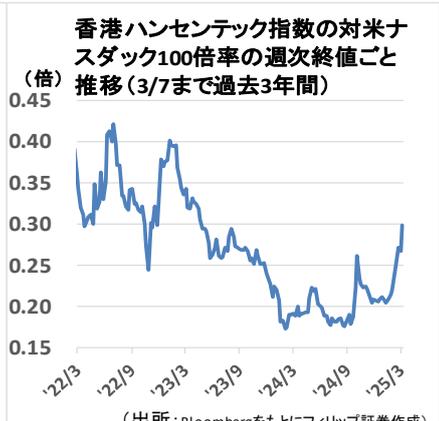
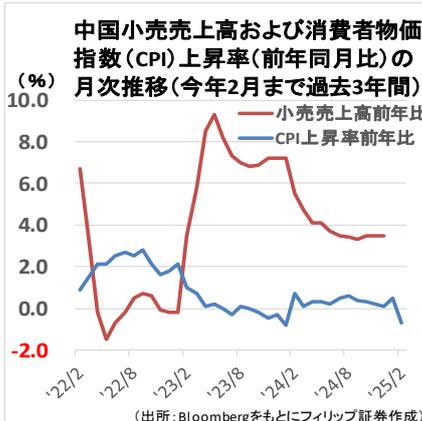
中国の国会に相当する全国人民代表大会(全人代)が3/5に開幕し、3/11に閉幕。併せて国政助言機関である全国政治協商会議(全国政協)も3/4に開幕し、3/10に閉幕。中国では、全国・省・市・県・郷の5級で人民代表大会制度が設けられ、県と郷の2つの級の代表は直接選挙で選ばれる一方、全国・省・市の3級の代表は間接選挙で、下位2級の人民代表大会によって選ばれる。また、全国政協に連なる人民政治協商会議は、実質的な権力や政策決定権は持たないものの、共産党とは異なる民主党派(衛星政党)とされる8つの組織が加わっている。

全人代の開幕時に李強首相が行った「政府活動報告」の一部は以下の通り。

- 課題:** 国際的には一国主義と保護主義が激化していること、国内的には経済回復の基盤がまだ盤石ではなく、特に消費が落ち込んでいる。
- 2025年の経済目標:** GDPの伸び率が前年比5%前後、CPI上昇率が2%前後。
- 財政:** 財政赤字の対GDP比率は前年比1ポイント上昇の4%前後。超長期特別国債を同3000億元増額の1兆3000億元発行。うち3000億元は消費財買い替えの支援に充てる。これとは別に、特別国債を5000億元発行し、国有大手銀行の資金注入に充てる。地方政府が発行するインフラ債(专项債)は5000億元増の4兆4000億元とし、不動産開発会社の抱える塩漬けの土地や在庫住宅の買い取りなどに充てる。
- 産業政策:** 民間の宇宙開発や低空経済(ドローン、電動垂直離着陸機)などの新興産業を発展させる。バイオや量子技術、ヒト型ロボット、次世代通信規格「6G」を育てる。人工知能(AI)と別の産業の融合を進め、デジタル技術を生産や市場の優位性と結びつける。AI基盤モデルの広範囲な活用を支援し、ネットに常時接続する「コネクテッドカー」の性能を備えた新エネルギー車やAI搭載のスマートフォンといった製品を発展させる。
- 貿易:** 越境電子商取引(EC)の発展を促進し、物流体系を充実し、海外倉庫の整備を強化する。

上記からは、特に、消費の落ち込みに対する危機感が感じられる。3/9発表の2月の消費者物価指数(CPI)は前年比0.7%下落で、昨年1月以来のマイナス。中国経済は依然デフレ圧力に直面している。超長期国債発行額1兆3000億元のうち3000億元を消費買換え支援に充てるとしており、一定の下支えは見込めそうだ。

産業政策では、「AI基盤モデルの広範囲な活用を支援」としている。**アリババ集団(9988 香港)**傘下クラウド企業が3/6、「DeepSeek」に対抗して低コスト・高性能の生成AI(人工知能)基盤モデルを公開。中国政府も半導体技術の西側からの自立を加速させるため、オープンソースのRISC-Vアーキテクチャを国家レベルで推進する政策を発表する見通しだ。ネット常時接続の「コネクテッドカー」性能の新エネルギー車は**シャオミ(1810 香港)**が先導。「貿易」における越境ECの発展で海外倉庫の整備を強化している代表的な企業は**JDドットコム(9618 香港)**である。



ハンセン指数またはハンセンテック指数構成銘柄(全96銘柄)における終値の昨年末来騰落率

前回基準日: 20250225 基準日: 20250311

順位	2024年末来騰落率・上位10銘柄 (%)	前回順位	
1	小鹏汽車	108.9	4
2	金蝶国際軟件集团[キングディー-Int'lソフトウェア]	89.9	5
3	華虹半導体[ファオン・セミコンダクター]	78.8	1
4	阿里健康信息技术[アリババヘルス・インフォメーション・テクノロジー]	74.4	3
5	中芯国際集成电路製造 [SMIC]	67.6	2
6	アリババ・グループ・ホールディング	62.1	6
7	Kuaishou Technology(快手)	60.5	14
8	小米集团[シャオミ]	56.2	7
9	薬明生物技術[ウーシー・バイオロジクス・ケイマン]	37.2	10
10	周大福珠寶集团[周大福珠寶グループ]	35.1	25

順位	2024年末来騰落率・下位10銘柄 (%)	前回順位	
96	East Buy Holding Ltd	-23.8	96
95	ニュー・オリエンタル・エデュケーション・アンド・テクノロジー	-22.3	95
94	ASMP	-22.2	58
93	金沙中国 [サンズ・チャイナ]	-10.9	94
92	携程旅行網 [トリップドットコムグループ]	-9.0	93
91	国業控股 [シファーム・グループ]	-7.1	82
90	中国海洋石油 [CNOOC]	-6.6	81
89	中国神華能源 [チャイナ・シェンファ・エナジー]	-6.3	91
88	新興能源控股[ENNエナジー・ホールディングス]	-6.0	86
87	中国石油化工 [シノベック]	-4.7	78

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

【2025年3月: 中国主要経済指標】

- 3月1日(土)
 - ・2月製造業購買担当者景気指数(PMI): 前回49.1、**結果50.2**
 - ・2月非製造業購買担当者景気指数(PMI): 前回50.2、**結果50.4**
- 3月3日(月)
 - ・2月(財新)製造業購買担当者景気指数(PMI): 前回50.1、**結果50.8**
- 3月5日(水)
 - ・2月(財新)サービス部門PMI: 前回51.0、**結果51.4**
- 3月7日(金)
 - ・2月外貨準備高: 前回3.209兆USD、**結果3.227兆USD**
 - ・2月貿易収支<1-2月>: 前回+1048億USD(12月)、**結果+1705億USD**
 - ・2月輸出<1-2月前年同期比>: 前回(12月)+10.7%、**結果+2.3%**
 - ・2月輸入<1-2月前年同期比>: 前回(12月)▲2.3%、**結果▲8.4%**
- 3月9日(日)
 - ・2月消費者物価指数(CPI)<前年同月比>: 前回+0.5%、**結果▲0.7%**
 - ・2月生産者物価指数(PPI)<前年同月比>: 前回▲2.3%、**結果▲2.2%**
- 3月11日(火)-18日(火)
 - ・対外直接投資<1-2月前年同期比>: 前回▲13.4%
- 3月11日(火)-15日(土)
 - ・2月資金調達総額: 前回70.60兆元
 - ・2月新規人民元建て融資: 前回5.13兆元
 - ・2月マネーサプライM2<前年同月比>: 前回+7.0%
- 3月17日(月)
 - ・2月小売売上高<前年同月比>: 前回+3.0%
 - ・2月鉱工業生産<前年同月比>: 前回+5.4%
 - ・1-2月不動産投資<前年同月比>: 前回▲10.4%
 - ・1-2月固定資産投資<前年同月比>: 前回+3.3%
 - ・2月住宅販売面積<前年同月比>: 前回▲20.0%
 - ・2月新築住宅価格<前年比>: 前回▲0.07%
 - ・2月調査失業率<前年同月比>: 前回5.0%
- 3月20日(木)
 - ・1年ローン・プライムレート: 前回3.10%
 - ・5年ローン・プライムレート: 前回3.60%
- 3月24日(月)
 - ・1年中期貸出ファシリティ金利: 前回2.0%
- 3月27日(木)
 - ・1-2月工業利益: 前回3.30%

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL: 03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会認定アナリスト、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得る場合があります。当資料に記載されている内容は投資判断の参考としてレポートの作成者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害について、フィリップ証券も、当レポートの作成者も、責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載することを禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平14.1.25」に基づく表示>

・フィリップ証券または本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。